

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くれよん		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年12月22日		～ 2026年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な活動やイベントを積極的に取り入れている	長期休みなどにはいろいろな体験が出来るように、外出することを増やし、買い物、電車に乗ってお出かけ、外食、公園遊び、他の開催しているイベントに積極的に参加するようにしている	他の事業所と合同で出かけることを増やし、もっと積極的にいろいろな活動を取り入れていきたい
2	・活動プログラムは子どもに合わせたものを取り入れている ・利用者の方に合わせた課題を用意している	・一人ひとりに合った活動が出来るようにしっかりと課題を準備し、常に新しいことを取り入れていくようにしている ・手作りでその子どもに合った個別に使う物を多く作り使用している ・おやつ作りやご飯作りを多く取り入れ食育に力を入れている	子どものやりたいこと、興味のあることを積極的に取り入れていき職員全員で取り組みが出来るようにしていきたい
3	・ご家族の方に写真や動画などで活動の様子を伝えている ・必要に応じて定期的な面談以外にも面談を行ったり、電話やSNSを使って情報を提供したり、情報の共有をしている	・くれよんの理念である寄り添った支援を行えるようご家族との関係を構築し、相談や話がしやすい環境を提供出来るようにしている ・事業所の様子分かるようにいろいろなツールを使い発信していった	ご家族同士で話出来る茶話会を開き、皆さんが楽しく集える場所の提供をし、また研修の機会も設け、職員とご家族も面接などの機会にもっと話など出来るようにしていきたい

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に対して研修会やペアレントトレーニングが出来ていない	職員の技術と人員の確保が難しいため行えていない 研修は日程や望む内容が保護者の方によって違うため先延ばしになっている	人材の確保と体制づくりを考えていきたい
2	地域交流など地域に関わる事があまりできていない	地域の行事は日曜日が多く参加出来ない また感染症などもあり年配の方々に参加してもらえない行事が行えていない	積極的にいろいろなところに参加出来るようにしていきたい
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	くれよん
------	------

公表日 2026年2月21日

利用児童数 28人

回収数 22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21			1		1階、2階と活動を分けるなど工夫している	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19			3		10名に対し3~4名の職員を配置している これからも適切な配置をしていく	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2		3		戸建てのため段差があるが室内には段差はない	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19	1		2		消毒など毎日行っており心地よく過ごせるようにしていく	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		1	子どもの特性を伝えるとそれに沿った接し方を考えて下さり助かっています	研修などを行いミーティングなどで共有している	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1		1		支援プログラムに沿った支援内容を取り入れていくようにしている	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					アセスメント、モニタリングなどを行い個別支援計画を作成している	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22					移行支援についてはまだこれから取り組むことも多いが、それ以外は支援内容が設定されている	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21				1		計画に沿った支援を行っている
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			1			季節のイベントや外部の情報を取り入れ固定化しないように取り組んでいく
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12			1	9		公園などで地域の子ども達と関わっている
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21				1		これからも継続していく
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21				1		これからも継続していく
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1			1	定期的に行っていただいています	研修会などは行っているが家族支援プログラムは行えていない
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1			1		連絡アプリやライン、送迎時に話をしている
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1			1		年に2回は必ず面談をし、電話などでも話をしている
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				1		これからもご家族の気持ちを大切に支援していく
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	1	1	1	1	年に数回開催していただいています	茶話会は年に何度か開催しているが、きょうだい同士の交流は行えていない	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1	困りごとや今の状況等連絡アプリや電話などで聞いてくださり対応していただいています	相談できる場所の提供を出来るようにしており、内部でも適切に対応できるようにしている
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			1		連絡アプリやラインなどを取り入れている
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22					ホームページ、通信などで情報を発信している
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			2		個人情報の漏洩がないように書類を作り、鍵のついた保管庫に書類を保管している
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			2		マニュアルはすべて策定しており、定期的に訓練を実施している
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21			1		地震、洪水、火事など定期的に訓練を行っている
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			2		災害時のルートなど周知している
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		1		電話や連絡帳などで連絡をするようにしている
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22					安心して通所してもらえるように環境を整えていく
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1			通所の日は帰宅時間が遅くなるのがさみしい様子。行くと楽しんでいるようです	楽しく通所してもらえるように活動などを考えていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	22					これからも満足していただけるように努力していく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	くれよん					公表日	2026年2月21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	2階にもスペースを作り遊べるようにしている	子どもが1階で遊ぶことが多く2階を活用しきれないことがある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	3~4人は必ず配置してる	通所する子どもの調子によっては人を取られることがあり手薄に感じることがある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	目に見てわかるように情報を開示している	戸建てのためバリアフリー化は難しい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	毎日掃除や消毒をするようにしている	戸建てのため活動場所が狭く感じることがある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	2階で勉強が出来るようにし、1人でいれる場所が用意できる	このまま維持していく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3	ミーティングなどで参加してもらっている	参加できない職員には伝わらないことがある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	保護者の方の意向には沿えるように改善している	室内空間など改善出来ないこともある	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	ミーティングや個別面談などで意見を聞くようにしている	意見が出にくいことが多い	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	外部評価は出来ていないが様々ないけんを聞き改善に努めている	外部評価を行えるように努力していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	オンライン研修を取り入れ皆が研修を受講できるようにしている	これからは法人内の研修も増やしていきたい	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	話し合いをし作成し公表している	偏りがないように気を付けていく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	1	面談でアセスメントを行い保護者の方と話をするようにしている	保護者の方と課題が違う場合がある	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	職員にモニタリングの時に参加してもらい検討している	忙しいときには十分に検討ができないことがある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	見れるところに置いていつでも手に取れるようにしている	共有出来ていない職員もいる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	確認出来ている	全ての職員に共有できていない	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	支援内容は設定している	地域支援などはまだ内容が伴っていないところがある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	出来ている	このまま維持していく	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	話し合いをし工夫している	このまま維持していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	支援を行っている	このまま維持していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	4	送迎などでない場合出来ないことがあるので内容を書き見れるようにしている	出来ていないこともあるので確認できるようにしていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	6	気になることはSNSなどを通して共有している	送迎ででてしまうことが多くみんなでの振り返りが出来ていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	業務日誌や個人のファイルに記録している	このまま維持していく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	モニタリングは定期的に行っている	見直しもやっている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1	行えるように支援している	このまま維持していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	1	子どもに自己決定出来るようにしている	このまま維持していく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	参加している	このまま維持していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	連携出来ていないこともある	これからは関係機関と積極的に関わっていきけるようにしていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	3	積極的に声掛けをするようにしていく	学校との連携が上手く出来ないことがある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	4	出来ていないのでこれからは共有に努めていく	これからの課題としていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3	出来ていない	出来ていないので出来るようにしていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	連携できるようにしていく	出来ていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	公園などに出向くようにしている	児童クラブなどは交流出来ていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2	参加している	このまま維持していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	2	電話やSNS,送迎時などに伝えている	このまま維持していく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3	ペアレントトレーニングは出来ていないが研修などは定期的に行っている	このまま維持していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2	行っている	このまま維持していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1	面談では家族の意向を確認し、子どもにも確認している	自分の意思を話せない子どもの対応が難しい
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	2	出来ている	このまま維持していく

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1	連絡があればその都度対応する	このまま維持していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	1	行っている	このまま維持していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1	対応している	このまま維持していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2	発信している	このまま維持していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	2	留意している	このまま維持していく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1	こどもや保護者の方に合わせて配慮している	このまま維持していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2	合同で夏祭りを行っている	このまま維持していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	全て策定している	家族に周知出来ていない物もある
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2	策定しており訓練も行っている	このまま維持していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	1	保護者に確認している	このまま維持していく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	医師の指示書はないが保護者からの聞き取りで対応している	指示書など保護者に相談している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2	安全計画は作成し、それに沿った訓練をしている	周知が行き届いていないところがある
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2	周知が出来ていないところもあるのでSNSなどで周知していく	周知が行き届いていないところがある
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	2	小さなことでもヒヤリハットに書いてもらい共有している	人によって感じ方が違うことがある
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	2	オンライン研修は全員必ず受けてもらい、外部研修などの機会があれば受講してもらっている	このまま維持していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	2	身体拘束の要件を保護者の方に見てもらい確認のサインをもらっている	このまま維持していく	